和文タイトル[ゴ14p]

○和文氏名[ゴ10p]1)、中山　貴太2)

1)和文所属で所属機関（と必要ならば分かり易い部署）[ゴ10p], 2)小田原短期大学（適宜改行）

**抄録の提出期限**

　2022年**10月10日（祝月）**（書式のチェック、修正に時間を要します。締切厳守でお願い致します）。マイクロソフト wordのファイルでお送りください（文字化けを気にされてpdfファイルを添付されるのはかまいませんが、必ずwordのファイルもお送り下さい）。拡張子は .doc形式 または .docx形式でお願いします。このファイル自体が抄録書式となっていますから、このファイルに変更を加える形で作成してください。

抄録の提出先

 **t.nakayama@odawara.ac..jp**

Mail添付資料として第57 回人類働態学会全国大会事務局宛（中山貴太）に締め切り厳守でお送りください。※連絡先が電子メールの送信元と異なる場合は、別途連絡先の電子メールアドレスを記して下さい。

１．はじめに（見本、スタイル：和文見出し大）

　本研究の……

２．方法(見本、スタイル：和文見出し大)

２－１．小見出し（見本、スタイル：和文見出し小）

　書式については、以下を厳守して下さい。指定の書式にあっていない場合は、こちらで適宜修正します。

３．結果(見本、スタイル：和文見出し大)

　見出しは、上記の見本の見出しの形式に従って下さい（結果と考察は単独でもまとめてもどちらでも構いません。書式としてはスタイルの「和文見出し大」、「和文見出し小」をご利用下さい。上記例では最初の見出しも「和文見出し大」を用いていますが、最初の見出しの前に空白は不要なので、最初の見出しは「和文見出し小」で構いません）。

４．考察(見本、スタイル：和文見出し大)

　本文の書式設定としては、

「2段組で間隔は2文字、フォントサイズ10ポイント、MSP明朝で、英数文字は日本語用と同じフォント

でお願いします。ただし、強調などのために、適宜フォントを変えたり文字装飾をするのは構いません。

ページ全体の構成は以下を厳守して下さい。

用紙サイズはA4

ページのマージン

　上　20mm

　下　20mm

　左右　22mm

ヘッダとフッタ

（指定の必要はありませんが標準としては以下の通り）

　ヘッダ10mm

　フッタ 12mm

行数・文字数の設定

　行数だけを設定して、

　46行　（行送りは15.7ポイント）

ページ数

１ページまたは２ページとします。

　図表、写真の利用は自由です。ただし印刷時の見やすさや文章の量とのバランスを考慮して下さい（白黒印刷です）。

図表について

　明確な制限はありません。ただし、編集側で調整する場合があります。編集側で調整できない場合は、作成者にお願いすることになります。１つの注意としては、透過特性の図形（特に透過GIF）の形式は避けて下さい。word の段階では問題なくても、pdf にすると汚くなり、文書サイズが大きくなります。透過GIFの意味が分からない場合は、気にされなくても構いません。

全体として

　基本的に、この見本にテキストを流し込んでしまえばよいと考えています。

　最後に横線の下へ、連絡先を以下の書式で記述します。

------------ << 連絡先 >> ------------

（連絡先と所属が異なる場合は、分かり易い記述とすること。住所、電話、ファックス、E-mailの内のできるだけ2つ以上を記す）

中山　貴太（ ← 氏名）

小田原短期大学保育学科（ ←所属）

250-0045神奈川県小田原市城山4-5-1（ ←住所）

電話　0465-22-1303㈹（ ←電話）

E-mail: t.nakayama@odawara.ac.jp （ ←e-mail）

ご不明な点は、上記連絡先まで。